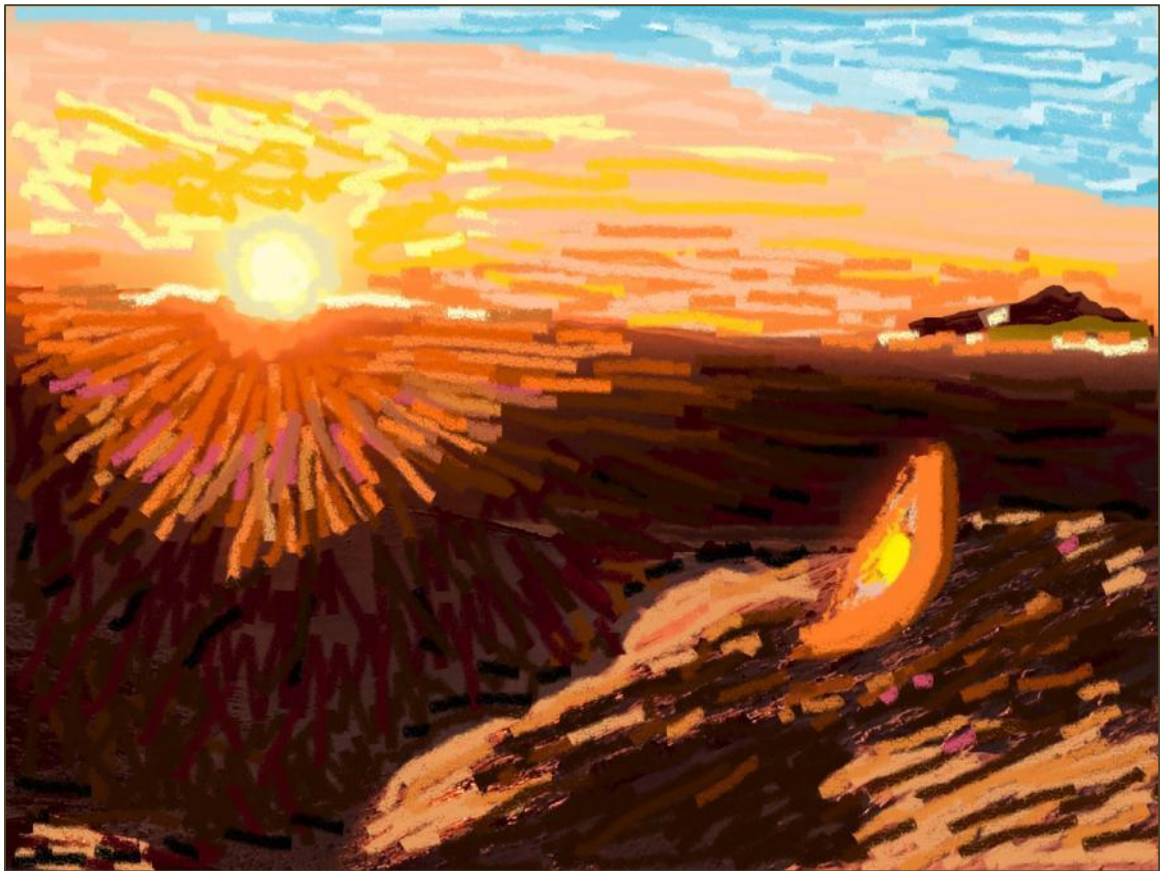


あかひら

No.362



2019. 1

岩手県勤労者山岳連盟



盛岡山友会



今後の日程(2/1～3/8)

日付	曜日	行事	日付	曜日	行事
2/1	金		19	火	
2	土	☆県連拡大理事会 1/28～2/3 No.455 大倉 博	20	水	2/18～2/24 No.2 渡邊 健治
3	日	▲森吉山(銀世界)	21	木	▲箱が森(ウィーク)
4	月		22	金	
5	火		23	土	
6	水	2/4～2/10 No.385 小田 嘉洋	24	日	▲七時雨山(銀世界)
7	木		25	月	
8	金		26	火	
9	土	▲八幡平(銀世界)～10日	27	水	◎2月例会(勤労福祉会館)18:45～
10	日	▲高洞山(ゆうゆう) ▲赤林山(四季)～11日	28	木	
11	月		3/1	金	2/25～3/3 No.234 古川 孝
12	火		2	土	
13	水	◎運営委員会(杜陵老人福祉センター)18:45～	3	日	☆県連総会
14	木		4	月	
15	金	2/11～2/17 No.279 松田 幸久	5	火	
16	土	▲八幡平(銀世界)	6	水	3/4～3/10 No.382 三浦 明夫
17	日	▲八幡平/源太森(銀世界) ▲黒森山(名山)	7	木	
18	月		8	金	

原稿のお願い

2月号の原稿締切り

◎ 2月 9日(土)

※手書き原稿の場合は、2日前迄とします。

原稿の基準

■サイズ:A4 山行報告は必ず1ページまたは2ページで作成をお願いします。

■本文枠:幅17cm・縦25cm または 余白:上・下25mm 左・右20mm

■本文のフォント:10～12ポイント、明朝体、またはゴシック体で

※編集作業中に文字化けする可能性がありますので、フォントは守ってください。

☆「かわら版」の原稿募集中!メール(原稿)のタイトルは「かわら版原稿」で送ってください☆

□送り先 ◎手書き原稿(郵送)

会員No. 357 渡部 彩子

〒020-0632 滝沢市牧野林 1047-66 TEL 090-7528-1968

◎メール原稿

会員No. 301 久保 加世子

メールアドレス k-kubo@mba.nifty.ne.jp

今年は5月に元号が変わる。名称はまだ分からないが、理屈なく一時代の終わりと始まりを感じさせられる年になるだろう。

私ごとだが、昨年11月に父が亡くなった。大正生まれの94歳だったから、天寿を全うしたと思いたい。関東大震災の翌年に生まれ、大正デモクラシーの芽生えも儂く軍国主義の暗い時代を経て、敗戦後は混乱の中から平和な日本の礎を築いた世代だ。

父は口数が少ない人で、戦中戦後の苦労話もほとんど聞いたことがない。母の話では、小学校を出て直ぐに栗石の家を離れ、盛岡で書生をしながら夜学に通い、東京での大学時代は栄養失調でガリガリに痩せていたらしい。身体が小さく弱かったため、赤紙が来たのが終戦間際に戦地には行かずに済んだ。

父は山と自然が好きで、私を登山やキャンプによく連れて行ってくれた。私が登山を始めたのも父の影響が大きい。父はいつも穏やかで、感情的になることもなく、家族や周囲の人々を黙って思いやる人だった。

私が大人になるころには、父とは違った道を歩みたいと生意気なことを考え、わがままも言った。そんなとき、父は何も言わずに好きなようにさせてくれた。父がどんな思いでいたのか、今は聞くことはできない。ただ、今の自分が全てにおいて父に似てきているので、若気の至りに赤面しながら、父の気持ちも分かってくる気がする。言葉は少なかったが、父は背中息子を導いてくれていたのだと思う。

人は、仕事でも、家族でも、遊びでも、身近な人間から多くを学ぶ。ときに反面教師もいるだろうが、人間は社会をつくる動物だから、他者との関わりなしに生存も成長もできない。

それは、山岳会にも当てはまる。先輩や仲間がいるから、会員は多くを学び成長することができる。私も会の先輩から、登山技術だけでなく、組織論や人生哲学など語り尽くせないくらい多くを学んだ。会員であるかぎり現在進行形だと思っている。

今年で創立33周年になり、多くを学んだ先輩の背中も少なくなってきた。いつのまにか、自分の背中を意識する歳になった。あるセミナーで「真のリーダーは背中語る」と聞いた。曲がった背筋を伸ばし、裏も表もなく、後ろ指だけは指されぬよう、残り人生を生きたいと思う。

もくじ

01 今後の日程 (事務局)	09 山行報告 星穴を探す山旅	木村 一
02 縦走路 「父の背中」	11 山行報告 新年山行 つぼ足隊	内堀 孝信
03 運営委員会報告	13 山行報告 新年山行 スキー隊	山田 潔
04 事務局から	14 山スキー講習会	内堀 孝信
06 志向別グループから	16 亥年と盛岡山友会	
06 かわら版 山ごはんレシピ	17 交流の広場	松田 希
07 今後の山行計画		
08 行ってきました		

2018年度 第10回運営委員会報告

■出席者：15名＋欠連絡5名/22名 2019.1.9(水)18:45～19:45 杜陵老人福祉センター

渡邊 三浦(明) 中村(美) 石澤 小田(嘉) 高橋(恵) 中村(数) 松田(幸) 小原
山田(潔) 福山 小川 松田(希) 岡(義) 大倉

【進行:三浦(明)、記録:中村(美)】

1 会長あいさつ

あけましておめでとうございます。6日の新年山行は、26人の参加でおいしい雑煮をいただいた。これからは4月の総会に向けて頑張りたい。

2 報告事項・確認事項

(1)現在の組織状況(1月5日現在)

会員数94名(男49名/女45名) 家族会員…5名 会友…6名 登山時報1月号46部

(2)各専門部等の取組状況

- ① 山行管理委員会…ヒヤリハットの報告はなかった。冬に入り山行回数が減ってきている。
- ② 教育遭対部…1/27 冬山入門講座(鶏頭山)、1/19～20 県連雪崩講習会(初級・中級)
- ③ 山行企画部…1/6 新年山行26人参加、HPブログにアップしている。
- ④ 会報部…近日中に編集の勉強会をする予定。
- ⑤ 自然保護部…1/26 冬の自然観察会(鞍掛山)、シカ情報収集現在13件
- ⑥ 事務局…協議事項へ
- ⑦ 県連報告…1月は理事会なし。拡大理事会が2/2(土)西部公民館で10時から(出席:小田、松田(希)、中村)。
3/3(日)県連総会、代議員10名必要、部会で話し合ってもらいたい。

3 その他報告事項

(1)沖縄の山へ、全国連理事と沖縄の山の会との交流。3/21から4～5日 希望者は渡邊会長へ。

4 協議・承認事項

- (1)定期総会議案書検討スケジュールについて…別記(事務局報告へ)
- (2)会装備品の保管者について検討…2月号に掲載予定(年度中は現行のまま)
- (3)HPブログ、あかげら「専門部ページ」の掲載…HPブログに、今回は新年山行をアップしている。
次回は自然保護部の観察会を。
- (4)会財政を考慮して志向別 G や部会などの会場に、杜陵老人福祉センターの使用を推奨したい(会として月2回まで無料で使用可)。
ちなみに2月の銀世界のミーティングは勤労福祉会館から杜陵老人福祉センターに変更になる。

第11回運営委員会は2月13日(水)杜陵老人福祉センターです

☆ 例会の司会と後片づけ

担当月	担当部	担当月	担当部	担当月	担当部
4月/10月	教育遭対部	5月/11月	山行企画部	6月/12月	会報部
7月/1月	組織部	8月/2月	事務局	9月/3月	自然保護部

事務局から

☆ 会員動向 (1/12 現在)

会員数 94 名 (男 49 名 / 女 45 名) 登山時報 46 部 家族会員…5 名 会友…6 名

☆ サムスプリントの販売について

サムスプリントをお分けしています。個人の医療パック用にいかがでしょうか。

1個 2,600円です。希望者は 事務局 石澤 (No, 140) までどうぞ。

☆ 第 33 回定期総会議案書検討スケジュール

月日	事項	検討内容	備考
1/23(水)	1 月例会 (部会)	各部会で一年の総括と方針案を検討	
2/ 4(月)	各部の報告締切	各部素案を運営委員会 ML に掲載	
↓	ML 上での検討	素案が最終案になるまで随時修正	
2/13(水)	運営委員会	各部案を持ち寄り検討	
2/27(水)	2 月例会 (部会)	運営委員会の検討結果のフィードバック	全体意見交換
〃	定期総会の案内	あかげら掲載 (出欠報告締切 3/27 (例会))	
3/13(水)	運営委員会	決算・予算案、事業計画等の検討	
↓	会計監査の実施	会計監事による決算 (見込) の監査	事務局対応
↓	ML 上での検討	最終案の確定 / 次期役員候補の選定	
3/27(水)	3 月例会 (部会)	最終案の確認と方針案の具体化検討	
↓	総会開催準備	総会役員候補の人選	
3/28(木)	最終原稿の入稿	小松印刷へ発注	事務局対応
4/ 3(水)	定期総会	議案書の納品	事務局
4/10(水)	第 1 回運営委員会	運営委員の役割分担、方針の具体化等	

1 月例会の部会で一年の総括と方針案を検討してください。

◆ 当面の予定

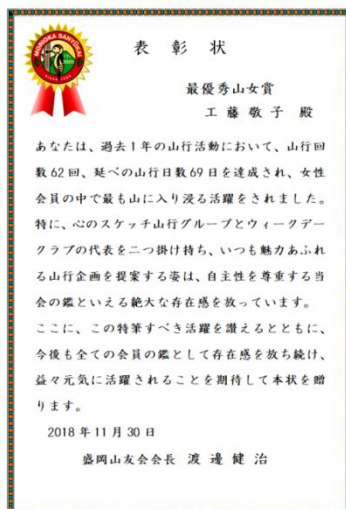
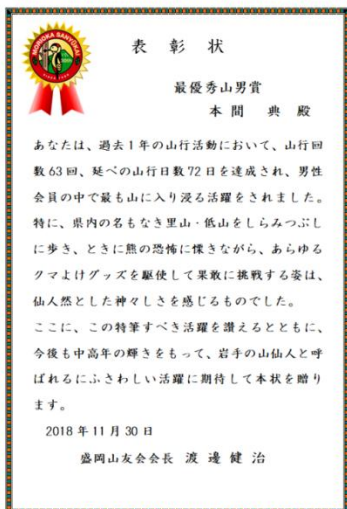
1 月 19 日～20 日 雪崩講習会	2 月 13 日 (水) 運営委員会 (杜陵老人福祉センター)
1 月 23 日 (水) 1 月例会 (勤労福祉会館)	2 月 27 日 (水) 2 月例会 (勤労福祉会館)
2 月 2 日 (土) 県連拡大理事会 (西部公民館)	3 月 3 日 (日) 県連総会 (花巻)

本日の例会進行・会場担当は 組織部です

2 月の例会は 2 月 27 日 (水) 勤労福祉会館 です

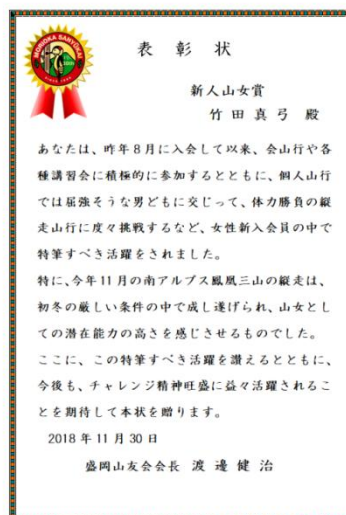
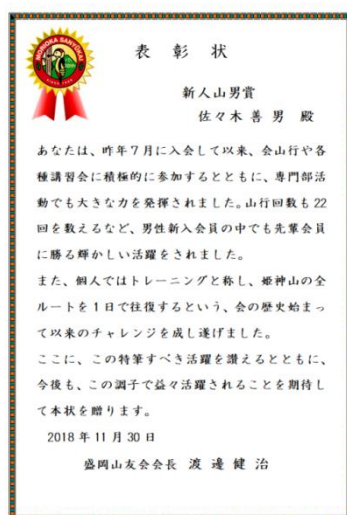
2018 会員表彰の報告（11/30 納山祭）

昨年 11 月の納山祭で恒例の会員表彰を行いました。この一年、最も活躍した会員を讃え贈るもので、会創立から欠かさず実施しています。以下に、受賞された皆さんと受賞内容を紹介します。



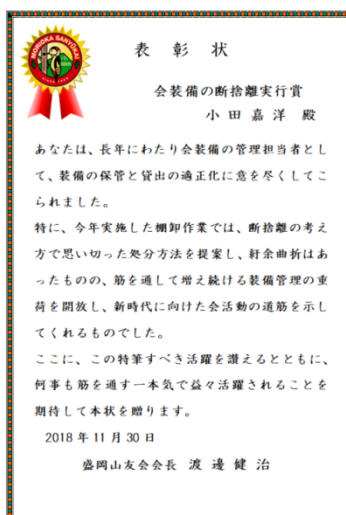
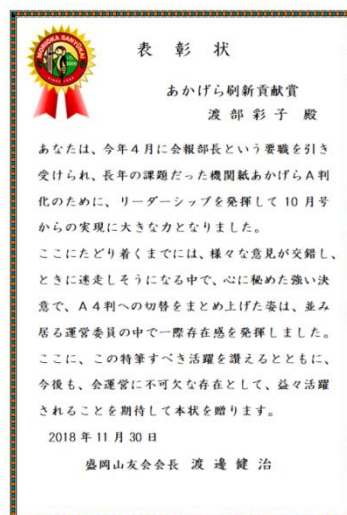
- ◆最優秀山男賞
本間 典さん
- ◆最優秀山女賞
工藤敬子さん

※届出のあった山行回数が最も多かった男女を表彰するものです。



- ◆新人山男賞
佐々木善男さん
- ◆新人山女賞
竹田真弓さん

※新入会員で山行や会活動に最も積極的に参加した男女を表彰するものです。



- ◆あかげら刷新貢献賞
渡部彩子さん
- ※あかげら A 4 判化に会報部長としてリーダーシップを発揮されました。
- ◆会装備の断捨離実行賞
小田嘉洋さん
- ※会装備の断捨離を提案し、その実行に力を発揮されました。

志向別グループからの お知らせ

◆ グループ銀世界

今シーズン第2回目の打ち合わせで以下のとおり決めました。
みんなで参加しましょう。

- 2月3日 (日) 森吉山
- 2月9日(土)～10日(日) 八幡平泊り
- 2月16日(土) 八幡平日帰り
- 2月17日(日) 八幡平日帰り(源太森)
- 2月24日(日) 七時雨山
- 3月3日(日) 稲庭岳
- 3月9日(日) 小松倉山
- 3月10日(日) 早池峰山(アイオン沢)
- 3月16日(土)～17日(日) 岩手山
- 3月24日(日) 秋田駒ヶ岳

- ◎ 2月のグループ定例会は2月5日(火) 18時30分から杜陵老人福祉センターで行います。
会場が変更になりましたのでご注意ください。
- ◎ グループ銀世界ホームページ掲示板をご覧ください。
<http://8229.teacup.com/ginsekai/bbs>

かわら版

《山ごはんレシピ》 ガンダーラカレー

入会した頃、山田純さんに教えていただいた山ごはんレシピです。会員番号300番位までの方にはファンが多いレシピではないでしょうか。

- ① α米はお湯を入れてごはんにしておく。
- ② 適当な大きさに切ったベーコンとみじん切りの玉ねぎを油(バターでもOK)で炒めて、塩コショウをする。
- ③ ①のごはんを入れて混ぜ、レーズンを入れ、ドライカレーの素(カレー粉でもOK)で味を調える。
- ④ 最後にクルミを入れて出来上がり。

コッフェルまたはフライパンひとつで作れて、軽量でエネルギー満点!

先日三ツ石の小屋に泊まった際、夕食のときに鍋でお米を2食分炊いて、朝食に冷ごはんで作りました。山でお米を炊くとお財布にやさしいですよ～。おこげが出来たり、軟らかかったり…。

それもまた楽しいものです(;^ω^)

(NO.294 松田 希)

今後の山行計画

※ 掲載の山行企画は全会員を対象としています。

実施日	山域・ルート (市町村)	企画	目的	難易度: 歩行/荷物/技術	締切日	打合場所	申込先
		問合せ	コメント	打合日時			
2月3日 (日)	森吉山 (北秋田市)	グループ 銀世界	樹氷観察スキーツアー	★★/★/★★	1月19日	勤労福祉会 館 例会	090-6250-0864 小原 耕
		小原 耕	阿仁スキー場のゴンドラを降りればそこは樹氷が、そこからラッセルを楽しみましょう。		1月23日(水) 18:30		
2月9日 (土)~ 10日(日)	八幡平 (八幡平市)	グループ 銀世界	樹氷スキーツアー	★★/★/★★	1月31日	勤福 銀世 界定例会	090-6250-0864 小原 耕
		小原 耕	恒例の樹氷スキーツアーです。秋田八幡平スキー場から登ります。		2月5日(火) 18:30		
2月10日 (日)	高洞山 (盛岡市)	ゆうゆう	山頂手前まで	★/★/★	2月2日	おでって2F	080-6542-8871 433岡義博
		岡義博	高洞山(ピストン)		2月5日(月) 18:00		
2月10日 (日)~ 11日(月)	赤林山 (盛岡市)	四季の山	冬の里山でラッセルを楽しむ	★★/★★/★★	2月2日	おでって2F	090-5228-6907 熊谷久美子
		熊谷久美子	矢巾温泉から登り、山頂付近でテント泊をします。		2月4日(月) 18:30		
2月16日 (土)	八幡平 (八幡平市)	グループ 銀世界	日帰り樹氷ツアー	★★/★/★★	1月31日	勤福 銀世 界定例会	090-7073-8822 305山田潔
		山田潔	岩手側の旧八幡平スキー場からの登ります。帰りは茶臼岳直下から豪快に滑りましょう。		2月5日(火) 18:30		
2月17日 (日)	八幡平/源 太森 (八幡平市)	グループ 銀世界	日帰り樹氷ツアー	★★/★/★★	1月31日	勤福 銀世 界定例会	090-5841-7547 (SNS可) 武田秀雄
		武田秀雄	旧八幡平スキー場跡を恵比須森から黒谷地湿原・源太森を目指します。		2月5日(火) 18:30		
2月17日 (日)	黒森山 深沢コース (盛岡市)	岩手名山歩 こうかい	冬の里山で雪山の経験	★★/★/★★	2月8日	おでって2F	019-635-3203 (FAX可) 工藤敬子
		工藤敬子	盛岡市と紫波町の境の山へ登りに行きましょう。		2月13日(水)18:30		
2月21日 (木)	箱が森 マクラヤマ・クロビ 経由コース (盛岡市)	ウィークデイ クラブ	平日山行を楽しむ	★★/★/★★	2月8日	おでって2F	019-635-3203 (FAX可) 工藤敬子
		工藤敬子	盛岡近郊の里山へ登りに行きましょう。		2月13日(水)18:30		
2月24日 (日)	七時雨山 (八幡平市)	グループ 銀世界	日帰り樹氷ツアー	★★/★/★★	1月31日	勤福 銀世 界定例会	090-3323-2367 松田希
		山田潔	松田希		2月5日(火) 18:30		
3月3日 (日)	稲庭岳 (二戸市)	グループ 銀世界	稲庭岳を滑る	★/★/★	2月25日	勤労福祉会 館 例会	090-5841-7547 (SNS可) 武田秀雄
		武田秀雄	天台の湯または稲庭キャンプ場から稲庭岳南斜面を往復します。		2月27日(水)18:30		

あかげら2月号に掲載する山行計画は、書面、メールにて、山行企画部

No.234 古川 孝 090-8923-3120(ショートメール可) mountfuru2@yahoo.co.jp

までお願いします。締め切りは2月10日(日)です。

行ってきました!

(12月17日~1月13日現在)

No.	月日	山域	ルート	目的	参加者名	会	分類
1	12月20日	氷上山 (874.7m)	スズランコース~山頂~中央コー	里山に登る	I本間(典)・S工藤(敬)	2	個人
2	12月22日	明神山 (623.1m)、 糠森山 (424.0m)、 砥森山	太田地区林道駐車場~明神山~糠 森山~駐車場、大平登山口~砥森 山周回	里山に登る	I本間(典)・工藤(敬)・級木	3	個人
3	12月22日	八幡平	アスピーテラインゲート前~縦山 周辺	スキートレーニング	久保〔会員外〕6名	1	個人
4	12月23日	黒石山	工芸社~登山口~山頂往復	クリスマス山行	I千田(勝)・S遠藤(千)・工藤(敬)・日比野・ 熊谷(久)	5	会
5	12月23日	鞍掛山	東側コース往復	トレーニング	I石原〔会員外〕1名	1	個人
6	12月24日	三ツ森山周辺(三山)	焼走りP~北峰~中央峰~南峰~ 焼走りP	冬限定の里山	I加藤(桂)・S大倉・小田(嘉)・小田(春)	4	個人
7	12月24日	鎌倉森	網張ビジターセンター~鎌倉森~ 姥倉方面往復	トレーニングと下見	I松田(幸)・松田(希)	2	個人
8	12月27日	鞍掛山	相ノ沢コース(右回り周回)	トレーニング	I中村(美)・北田	2	個人
9	1月6日	兜明神岳・岩神山	ウォーキングセンター~兜明神~ 岩神山	新年山行	I大峠・S小原(耕)・渡邊(健)・山田(潔)・武 田(秀)	5	会
10	1月6日	兜明神岳	ウォーキングセンター~山頂往復	新年山行(お雑煮山 行)	I中村(数)・S遠藤(千)・S大倉・S佐々木 (善)・中村(美)・工藤(敬)・日比野・北田・加 藤(桂)・府金(志)・本間(典)・高橋(陽)・小 田(嘉)・吉田(成)・畑中・小田(春)・岡(義)・ 佐々木(優)・内堀・石澤・高橋(敬)	21	会
11	1月6日	八幡平・茶臼岳	アスピーテゲート前~茶臼岳往復	新年山スキー始め	久保〔会員外〕7名	1	個人
12	1月8日	赤林山	つどいの森コース	平日山行を楽しむ	I工藤(敬)・S中村(美)・石澤・日比野・級 木・本間(典)・小田(嘉)・小田(春)	8	志向別G
13	1月12日	笠根山(620.4m)、白 山堂山(474.8m)、大 鹿山(462.0m)	江刺染川地区~笠根山往復~白山 堂山往復、武道坂地区~月山神社 ~大鹿山周回	里山に登る	I本間(典)	1	個人
14	1月12日	三ツ石山	網張スキー場~山頂往復	樹氷鑑賞、三ツ石パ ウダーを楽しむ	I大峠	1	個人
15	1月12日 ~1月13日	三ツ石山(1,466m)	網張スキー場~山頂往復	冬山に泊まる	I山田(潔)・S舟越・古川・小原(耕)・村田・ 内堀	6	志向別G
16	1月12日 ~1月13日	八幡平	アスピーテラインゲート~茶臼岳 周辺	八幡平スキー合宿	久保〔会員外〕5名	1	個人
17	1月13日	姫神山	一本杉コース	トレーニング	I石原	1	個人
18	1月13日	志賀来山(西和賀町)	沢内バーデン~山頂往復	閉鎖されたスキー場 でカンジキを楽しむ	I加藤(桂)・S大倉・小田(嘉)・小田(春)	4	個人
19	1月13日	鞍掛山(897.1m)	相ノ沢コース(右回り)	雪を楽しむ	I岡(義)・S吉田(成)・高橋(徳)・太田代	4	志向別G

注：これは、あくまで速報的なものですので、掲載もれや誤り等がある場合はご容ください





星穴を探す山旅(表妙義星穴岳)

No.350 木村 一

2018年12月22日(土曜日) 天候 : 晴のち曇り

メンバー: CL 木村 一 他 3 名(会員外)

中之岳神社車場所(8:20)～星穴岳(11:40)～中之岳神社車場所(13:20)

中之岳神社車場から仰ぎ見る表妙義岩壁群



春には桜が咲き乱れ、秋には真っ赤な紅葉が乱舞し、その背後に屏風のような壁が連なる光景は三大奇勝の一つで訪れる人を圧倒させ、群馬県を代表する山として妙義山は多くの岳人に愛されている。妙義山は、表妙義と裏妙義に分けられ、金洞山、白雲山、金鶏山を通称【表妙義】と言い、谷急山、丁須の頭、御岳等を通称【裏妙義】と呼んでいる。

1ヶ月前に裏妙義を縦走した際に表妙義を眺めると、ごつごつした岩壁の中にぽっかりと空いた空間(穴)が見え、下記のような星穴伝説があるのが分かった。

『星穴伝説』

その昔、百合若大臣が横川付近から妙義山に向かって放った矢が、みごとに射抜いたというのが、“射ぬき穴”。そのお供の男がお結びを力いっぱい投げつけて開いたというのが“むすび穴”と伝言されている。





このような伝説を聞くと行きたくなるのが岳人の性で、今回星穴岳の縦走になった。中之岳神社から登り始めるが、一般登山者の入山禁止看板が数ヶ所に設置されている。クライミング経験者で50mロープ2本を携帯して、空中懸垂下降があるルートなので、過去には痛ましい遭難事故が発生しているとの事。安易に踏み込まないで欲しいと地元は希望する。岩場をトラバースし、岩場を登り、岩場下降を繰り返しながら西岳を経て星穴岳コル到着。



星穴岳の頂には安全を期してロープを使用して登頂し。星穴岳からは懸垂下降で降り、更に、結び岩に向かってロープを使用した45m懸垂で下降するが、途中、空中懸垂下降があるので面白い。結び岩で記念写真を撮り、更に、40mの垂直の岩壁を懸垂下降で降りて、右手の落ち葉の積み重なったルンゼ(岩溝)を登って射抜き穴を目指した。射抜き穴は上部がオーバーハングしており、かなり規模の大きい穴になっていて一見の価値がある。

射抜き穴からは落ち葉の積み重なった細い踏み跡を、赤テープに誘導されながら滑り易いので注意しながら下降し、約40分で中之岳神社に戻った。

妙義山の麓の温泉施設『妙義ふれあいプラザ 妙義温泉もみじの湯』で汗を流し茨城に戻った。

妙義山はスリリングで面白い山なので、来年は相馬岳、白雲岳に登りたいと目論んでいる。





新年山行（19年度：兜明神）つぼ足隊

(山域) 兜明神岳周回

(日時) 1月6日(日曜日) (天候) 晴れ

(コース) 登山口～兜山荘～見晴らし台～兜明神麓～兜山荘～登山口

(参加者) CL: 中村数 SL: 大倉・遠藤・佐々木善・

中村美・工藤・日比野・北田・加藤・府金・本間・高橋・小田・吉田・畑中・

小田春・岡・佐々木優・石澤・高橋敏・内堀(記録) 計: 21名+スキー隊5名

(コースタイム) 登山口 8:20～兜山荘 9:15/9:40～見晴らし台 10:00～兜明神麓 10:40～

兜山荘 10:55/12:30～登山口 12:55

(記録)

今年初めての山行であるにも関わらず、前日、盛岡の自宅で会社の単身赴任メンバーと新年会をしてしまい、宴会の片付けをして、そのまま就寝してしまった。当日、朝方起きて山の準備をするものの、手間取ってしまい、ギリギリの出発となった。途中コンビニにより買い出しして、何とか間に合った。予定通り都南大橋を出発して川目方面に進み106号線(高速)に乗り、区界を目指す。新しい道路は強いカーブもなく順調に進む。途中より元の106号線に出る。道は昔のままである。外気の温度は-8℃前後と寒くなってきた。久々の寒さを感じる。トンネルを抜けるとビーフビレッジ:道の駅が見え、ここでトイレ休憩をして、登山口に向かう。あっという間に到着して、出発準備を整える。車の運転中から飲み過ぎによるお腹が痛い。嫌だなーと思いながら、後方より登り始める。雪が思ったより少ない、つぼ足で進む。左側に巻きながら進み途中、軽い休憩があり、1時間弱で兜山荘に到着する。途中、兜山荘の煙突から煙が出ておりストーブが付いていることが判った。スキー隊が早めに到着してストーブを付けて頂いたようである。中は広く暖かい。食当の方々は手際よく、お雑煮の準備を始める。私はここで終わりと思ひ込み、すっかりリラックスモードに、つぼ足隊は兜明神を周回することで出発準備をしている。私は昨日の飲み会の影響から、食当の方々小屋番に宣誓。ストーブの周りに陣取り暖かい時間を過ごし、お茶を飲みまったりと時間を過ごした。電話が入りもう直ぐ到着情報から、お雑煮の最終段階に突入する。準備するうちに、つぼ足隊は続々と、小屋になだれ込んできた。皆様充実感が出ている。私はどんよりと曇りがちな顔立ち。その後、スキー隊も合流して甘酒、お雑煮、ミカン等が各自配給された。乾杯してお雑煮を入れ体が温まり落ち着く。山行企画の山田さんから、自己紹介と去年の良かった山行、今年、行きたい山を話すことになった。私は何かあるだろうか、何もないな。去年はリハビリ山行であったな。今年は少し厳しい山に登る事かなと思いながら話を済ませた。個人の話も終わり、帰り支度を手際よく熟す。帰りは来た道とは別の真直ぐ降りて登山口を目指す。スキー隊は先に進むが所々、笹が出ており、スキーで滑る箇所は少ない。つぼ足隊はスキー隊に遅れて登山口に到着する。ここで、解散となり、記録の確認と軽い反省会を行い、解散となった。我々の車は道の駅でトイレ休憩を行い、都南大橋にお開きとなった。岩手の山は避難小屋が立派で収容数も多く、気軽に使えるものだった。関東周辺の避難小屋は小さく、暗く寒くて三拍子揃っており、使用した事は皆無であった。いつもテントを持って行っていたので、東北の避難小屋使用がこれほど快適とは思った。また、違う雪山に行き岩手の雪山を堪能したいと思った。



—以上—



岩神山 新年山行（スキー隊）

No305 山田 潔

日程：1月6日（日） 晴 風なし

メンバー：銀世界5人（大峠、渡辺（健）、小原、武田、山田K）ワカン21人、総勢26人

コースタイム：7：15 都南大橋 7：30——8：05 区界ウォーキングセンター 8：20——9：10 かぶと山荘 9：20——10：10 岩神山 10：40——11：15 かぶと山荘 12：30——12：50 ウォーキングセンター 13：15——都南大橋 13：45

7：30 集合場所の都南大橋から東の空を望むと太陽がようやく雲から顔を出しそうなきれいな空で、今日の晴天を予感させた。今日は午前10時頃に部分日食が見られるという。天気がよさそうなので覚えていれば確認できそうだ。ぼちぼち集まってきた山友会の会員に正月のあいさつをして、スキー隊は大峠号で出発する。車内では「今年は雪が少ないので兜山荘までは歩いていくことになるかもしれない」と、雑談する。区界の道の駅ではマイナス9度と今シーズン感じたことのない寒さに身震いする。

8：05 ウォーキングセンターに着く。急いで旧ゲレンデの斜面の雪の具合を見に行く。枯れすすきが一面に生えた旧ゲレンデの左側に、登山道と思しき1m程の白い直線が見えた。上まで雪が続いているようだ。スキーで行けそうなことを確認しスキーを装着する。スキーで歩きだすと、ふかふかの新雪が10cmほど積もっており、昨日雪が降ったようだ。その下には雪を踏み固めた登山道があり、固く締まっている。数日前にツボ足で登山したと思われるトレースが細く伸びていた。それをたどりながら5人のスキー隊は上を目指した。ザックを背負ってのスキー登行は1年ぶりですぐ息が上がった。やっぱ疲れるなあと話しながら、ひと汗かいて兜山荘に到着。長机が2つ去年より増えており、テーブル・丸太椅子をセットし、ストーブに火を入れていると、ワカン隊が到着。

スキー隊は岩神山を目指して出発した。思っていたより雪は多く、岩上山への道は2～3日前のトレースをたどりながらのラッセル。乾いた雪なので抵抗感はない。いつもスキーで下る時のルートのように迂回したトレースだったので、そのままたどる。岩神コースには1番から10番までの標識があり、10：10に山頂到着。スキーを脱いで岩の上に向かうと、膝まで雪に埋もれ歩きにくかった。あいにく岩手山は雲に覆われていたが、岩の上から安倍館方面には霧氷の林が連なっていて美しい冬山の光景だった。



30分ほどで兜山荘に戻ると、雑煮と甘酒が出来上がっていた。会長をはじめ、皆で新年のご挨拶と抱負等を述べ合い、和やかに2019年の初登山の味をかみしめた。今年の雑煮も具が多くておいしいとの評判で、残すことなくいただいた。

帰路は、登ってきた幅1m程のブッシュのない登山道をスキーで下ることとなる。ふかふか雪はよいが、余りにも狭いため、ボーゲンで足がパンパンになった。パラレルで滑っても見たが、すすき野に入ったりしながら、登りよりも疲労感があった。天気に恵まれ、楽しい山行となり、今年の山行は、幸先の良い山行となった。（写真提供：小原耕さん）

お詫び：「新年山行で皆様の協力のもと、私が写真を撮りましたが、パソコンに保存後にカメラの写真削除しました。所が、パソコンに保存したつもりが保存になっておらず、結局撮影した写真はすべてなくなってしまいました。大切な思い出写真を消滅させてしまい誠に申し訳ありませんでした。」

'18 年度山スキー講習会

(山域) 網張スキー場：白樺ロッジ内・周辺

(日時) 12月23日(日曜日) 9:30~14:30

(天候) 晴れのち曇り

(参加者) 古川・三浦明・三浦良・大峠・山田潔・久保・松田希・松田幸・内堀(記録)

(記録)

早朝早く起きて朝食をとり自宅を出発して、小岩井から網張スキー場を目指す。途中、相の沢キャンプ場駐車場は除雪されており、車が数台ある。鞍掛山の登山のする人たちであろう。その先を進むと、御神坂駐車場は除雪もなく、冬ここから登れないと思った。駐車できないな、考えながら進むと網張スキー場であった。係員に誘導され駐車し一息入れる。私は山スキー初心者で初めての講習会参加となる。スキー靴を履いておぼつかない様子。大丈夫だろうか？ スキーセンター内に行き皆様と合流する。8:50頃白樺ロッジ目指してリフト組・スキーで行くものと別れ、各々出発して行く。私は初めてであり、板にシールを貼り隙間が無いようにと、松田さんからご指導を受ける。歩き始めるが、何時もの癖で、わかんと同様にスキーを上げて進む。疲れるので出来るだけ上げずスノーシューのようと言われるが、中々上手くいかない。少しずつ進みシールの効果を実感する。意外と登れると感じた。白樺ロッジに入り、既に全員が準備万端で、円を囲むように座学講習会が始まる。三浦さんが懇切丁寧に雪崩の発生含め、最新の技術を踏まえ講習して頂いた。ありがたい。

その後、レスキューとして怪我人の搬送する為の実技をロッジ内で行った。シートで怪我人を運ぶ想定として、シートに人を包みロープで結束して引っ張る方法。もう一つはスキー板を利用して、スキー板をV字に結び、スコップで先端を結び、スキー板の金具まで伸ばし、板が外れないようにする方法を教わった。怪我人役は希さんである。何時も怪我人役である。率先してやって頂けるとは有り難い。ここで、実際に引っ張る事になる。ロッジの外に出て、スキー板に怪我人を乗せ、ロープを引っ張り進むと、あら意外と進むね。スキー板で怪我人搬送は上手く行きそう。但し、急坂では支点を作り確保して、下ろすことが必要だと思った。途中、シートで包み、ロープで巻きつけシートベントをする際、悪戦する人が続出する。ロープワークは常日頃の訓練が必要だと思った。ここで時間もお昼になり、昼食休憩で一時中断。午後は、ビーコンの使い方、搜索方法、ビーコン同士の相性などを確認した。電波は指向性があり向きにより変わるため、ビーコンで探す際は、常にX・Y・Z方向と向きを変えていく事が必要であると講師の三浦さんから教わる。私はこの日にビーコンが間に合わず、千葉の自宅に月曜日届いたようであった。最後に、雪崩発生時の救出として、スコップを使用して救出方法を訓練する。4人1組スコップで雪を掘るやり方であるが、先頭は雪を出す量が多いため、疲れが出てくる。順番に行うが中々上手く行かない。これも訓練である。

2箇所実施して、本日の講習会も終了となる。年に1回やっていると、経験が養われるものだと実感する。最後はスキーセンターを目指して、スキーで降りる。12-13年以上スキーをやっていなかったブランクもあり、途中、転んでしまった。やはり、スキーを少し練習して皆様に迷惑を掛けないようにしないと行けないと実感した。スキー靴・板がまだ自分の足になっておらず、慣れる事が先決であると思い、少し体に鞭を入れてスキーに励んでいきたいと思ったこの頃であった。皆様と山スキーの楽しさを肌で感じ、岩手の素晴らしさを感じて行きたいと思った。講習を行って頂いた、三浦様、松田様、古川様、はじめ皆様にはお世話になり、貴重な経験が出来たことを感謝したいと思います。



—以上—

亥年と盛岡山友会



会員みなさま、今年も宜しく願いいたします。今年 2019 年は「亥年」ですね。盛岡山友会では亥年にどんな出来事があったのでしょうか。30 周年記念誌年表より振り返ってみましょう。

設立は 1986 年（昭和 61 年）寅年です。最初の亥年は 1995 年（平成 7 年）。この時、会員数 100 名を突破、翌年の 10 周年記念を前に様々な企画や準備が行われていたようです。

それから 12 年後の 2007 年（平成 19 年）は会員数 132 名に増えました。この年の納山祭は岩手第一ホテルで行われていたようです。ホテルは無くなってしまいましたが、懐かしいと思い出される方も多いのではないのでしょうか。

亥年生まれの有名人を調べてみると、政治家と小説家が多いそうで、ロナルド・レーガンさん、ヒラリー・クリントンさん、川端康成さん、司馬遼太郎さんなど。亥年の性格と関係あるのでしょうか？そこで身近な亥年生まれの会員の皆さんに聞いてみました。

「亥年生まれを実感するときはどんな時ですか？」

◎私は、考えているより実行にうつし、どこかにぶつかったらすぐに方向転換するタイプです。落ち込みますが、立ち直りが早い。亥年の血液型 B 型で、自分でうなづけます。回りを見ないでマイペースな自己中の面も否めませんが、亥年好きです。

No.478 佐々木優子さん

確かにイノシシはまっすぐ進むイメージがありますが、実際は障害物をかわして U ターンするそうで、そのような映像見たことがあります、まさに佐々木さんの分析通りですね。

- 1) 周りが干支生まれを言った時。
- 2) 神社に参拝したときに看板を見て、もう直ぐ厄年だと思った瞬間。
- 3) 年齢を言いたくない時に干支で言ってしまう時。
- 4) 年賀状でイノシシ絵柄が見えたとき。
- 5) 段々恥ずかしくて年男とは言えず、黙っている自分。

後は皆様の想像にお任せします。

No.484 内堀孝信さん

私は読みながら「ある、ある。」なんて笑っていましたが、きっと皆さんにも思い当たる節があるでしょう。するどい観察眼ですよ。

さて今年 2019 年の干支は正確には「己亥（つちのと・い）」になります。この意味は「来たるべきに向けて準備を整えている状態」をあらわしているそうです。盛岡山友会は 2021 年に 35 周年を迎えますので少し早めの山行計画を考えるのもよいでしょう。皆さんで、楽しいイノシシ年にしませんか。



会報部 渡部

交流の広場

-ヨーロッパアルプスの山小屋-

時々表紙の絵を描かせてもらう程度で会には本当にご無沙汰しております。仕事や家族のことですっかり縁遠くなってしまいましたが、月々アカゲラ届けていただいたり、時折山行へお誘い頂いたり、そのつながりをとてもありがたく思っています。

今回投稿のご依頼を受けた頃、年末のNHK BSでほんの少しの時間、ヨーロッパの山小屋巡りが数日間流れました。今書く山の材料が何もない私にはこれかなと思いました。

40歳を迎えた年、モンブランに登頂しました。とても懐かしい山行。登頂の感激よりは、ガイドとの交流やヨーロッパの山文化にとっても魅力を感じた旅でした。ガイドも私も片言の英語でハラハラドキドキのツアーでしたが、立ち寄りたり宿泊した山小屋のことはよく覚えています。特に思い出深いのは、足慣らしに初めに登ったグランパラティーズの最初の宿泊小屋。翌日の登頂を控え早々に着いた小屋のテラスで過ごすゆったりした午後の時間（テント泊でも“おやつ”を食べながら早々と始まる宴会の魅力は会に入らないとわからない素敵な時間）、ふっと現れたアイベックス、小屋の前の小さな湖面が波も立てずに静かな時間が流れていました。どの山小屋も定番メニューは、ボリュームたっぷりのオムレツ、トマトソースの生パスタ、大きな白いボールに入ったカフェモカ。素朴でシンプルなのにどれもフレッシュで家庭的でおいしい。カッコいいガイドのフランクはどここの山小屋でも顔なじみで奥に入って管理人としばらくおしゃべり、いつも話せばかりいるこのガイドでしたが、夜シュラフに入ると小さな単行本をザックから取り出し読みふけていたのを印象強く覚えています。行動の静と動のメリハリがはっきりある！ますますカッコいい！寝食ともにしてみえるその人柄。触発されて帰ってからフランス語を習ったほどでした。

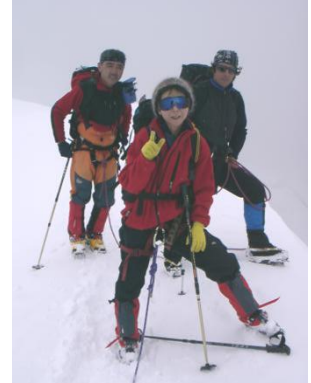
山小屋の一番の魅力はその眺望。肝心のモンブラン前泊小屋は雪と岩だらけで高度障害もあり頻繁に行ったトイレの印象しか残ってません。でも、下山後、シャモニーを挟んで向かい側のトレッキングコースの山小屋のテラスで頂いたサラダとワインは、前日の達成感もあって最高でした。「あそこに本当に登ったんだ！」と。



それまで海外旅行は数回行ってはいたけれど、どの旅よりも魅力的で、山友会に入って本当によかったと思った旅でした。モンブラン登頂の日と同じく登頂を目指した日本人女性とガイドさんはその日の天候の厳しさに途中で引き返したとか…。今思えば数々行った山行、雪や岩や氷のクライミングやビバーク訓練あつての登頂、自分にとってその集大成ともいえる山旅だったかも。言葉は伝わらなくても山人として通じ合える良さも実感しました。誰かが「山は生活を学ぶ場所」と言ったのを覚えています。

皆さん、新年迎えて、今年もますます良い山旅を。

(No.161 田中弘美)



■□ 表紙の言葉 □■

— 「朝陽」 —

岩手山山頂で見た朝陽です。早池峰の山並みが朝陽に染まった雲海に浮かんでいました。

空ははじめ赤く、続いて明るいオレンジ色に変化していき、太陽が顔を出すと更に黄色が強くなって、ぱっと照らし出される世界が広がります。この一連の動作が、神々しく思わず手を合わす、生きてること、この山に今いること、すべての存在に感謝するような気持ちが沸き上がってきました。04/11/2018

No. 454 小原 耕

..... あかげら 第362号

2019年1月23日

発行者 盛岡山友会 会長 渡邊健治

編集責任者 盛岡山友会 会報部長 渡部彩子

印刷／製本 (有)小松茂印刷所

盛岡市大沢川原2-5-37

019-623-6073

□■□盛岡山友会のホームページ□■□

http://www.geocities.jp/morioka_sanyukai/
～里山からヒマラヤまで安く、楽しく、安全に!～